

須坂新校再編実施計画懇話会研修会 「新たな普通科」



学び応援キャラクター「ほろなび」
©長野県教育委員会信州なび局

令和4年（2022年）2月28日
長野県教育委員会 高校再編推進室

「新たな普通科」の背景



これからの高等学校教育について

令和2年11月25日

文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）

中央教育審議会の新しい時代の
高等学校教育の在り方ワー
キンググループの審議まとめ
～多様な生徒が社会とつながり、
学ぶ意欲が育まれる魅力ある
高等学校教育の実現に向けて～



高校教育を取り巻く現状と課
題を認識したうえで、改革の
方向性を示す

文部科学省HPより(https://www.mext.go.jp/content/20201124-mxt_koukou02-000011165_03.pdf)

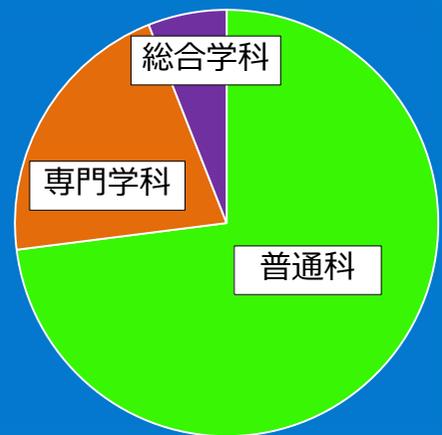
「新たな普通科」の背景

高校の現状・課題	現状を踏まえた改革の方向性
進学率が99%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な生徒が在籍していることを前提とした教育活動 ・ 共通性の確保、多様性への対応
高校生の学校生活の満足度や学習意欲が、中学校段階から低下	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生徒を主語にした」高等学校教育の実現 ・ すべての高等学校で特色・魅力ある教育を実現

「新たな普通科」の背景

全国の高校の学科と生徒割合
(2020年度)

普通科	73%
専門学科	21%
総合学科	6%



「新たな普通科」の背景

普通科の課題

1 一斉的・画一的な学びの印象がある

教育内容に大差がない (と考える)

…だから偏差値で高校を選ぶ

2 特定の教科について十分に学習しない傾向

この教科・科目は進路に必要な (と考える)

…だからその教科・科目への意欲が薄れる

5

「新たな普通科」の背景

課題解決の方策

「一斉的・画一的な学び」に対して

- ・各校の学びの特色化・魅力化の推進
- ・各校の取組の可視化

特色・魅力ある教育内容を表現する名称を学科名とすることを可能に

「特定の教科を十分に学習しない」に対して

現代社会や国際社会における問題はいわゆる文系・理系で区別できるものではない

総合的な探究の時間を軸に教科等横断的な学びに取り組み多様な分野の学びに接する

「新たな普通科」の設置

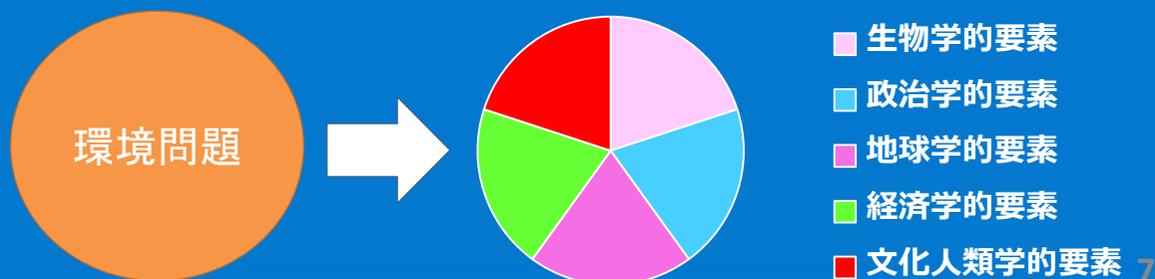
6

「新たな普通科」の例

学際的な学びに重点的に取り組む学科

- ・ 特定の分野だけでは解決できない現代の諸課題に対応するために学際的複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに取り組む
- ・ 地域社会、国家、国際社会という枠組みも超える**ボーダレスな課題**に取り組む

※学際=いくつかの学問分野にまたがって関わる



「新たな普通科」の例

地域社会に関する学びに重点的に取り組む学科

- ・ 高等学校が立地する地元自治体を中心とする地域社会が抱える諸課題に対応
- ・ 現在及び将来の**地域社会が有する課題や魅力に着目**した実践的な特色・魅力ある学びに取り組む

その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

- ・ 当該高等学校のスクール・ミッションに基づく特色・魅力ある学びに取り組む
- ・ その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む

※スクールミッション=各高校の存在意義、期待される社会的役割、目指すべき学校像について示したもの

「新たな普通科」の学び

教室内の学び
(従来の普通科)

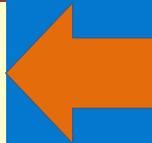


現場での学び

- ・課題の現状を目の当たりにする
- ・課題解決に取り組む社会人に学ぶ

関係機関との連携・協働

- ・コーディネーターの配置
- ・学校運営協議会の設置
- ・コンソーシアムの構築



- ・地元市町村
- ・高等教育機関
- ・NPO法人
- ・地元企業

学びを共に創る
「共創」

9

「新たな普通科」の要件

- 1 各学科の特色等に応じた目標及び内容を定めた学校設定教科を設置、当該科目をすべての生徒が履修。
(単位数は2単位を下らない)
- 2 上記1と総合的な探究の時間での履修単位の合計は6単位を下らない。
- 3 上記1の学校設定教科・科目と総合的な探究の時間を相互関連させ、原則として各年次にわたり履修。

10

全国の「新たな普通科」 (令和4年度開設)

島根県立隠岐島前高校「地域共創科」

仲間と共に、
大人と共に、
地域と共に、
憲法を守る未来を創る

これから変わること

新たに設置される「地域共創科」では、教科学習や「総合的な探究の時間」による探究的な学びとあわせて、地域でのより実践的・実証的な学びを展開することで、他校にはない隠岐島前ならではの「地域・社会と共にある教育環境」をつくります。

① 新たに「地域共創科」が設置されます。

2022(令和4)年度から「普通科」と合わせて、新たに「地域共創科」が設置されます。これは文部科学省の普通科改革(※1)の流れを全国に先駆けて実施するもので、より地域の特徴を生かしたカリキュラムで学ぶことができる新しい制度です。
(詳細はQ&Aページを参照ください)

② 2年生から学科が分かれます。

2年生から「普通科」と「地域共創科」の2つの学科に分かれます。学科は1年2学期末(12月頃を目標)に選択する予定です。学科選択は卒業後の道路にとって非常に重要であるため、1年次に生徒および保護者の方を対象に説明会を開催し、きめ細やかにサポートする予定です。

③ 「地域共創DAY」が設置されます。

地域共創科における2年次の「地域未来共創」と3年次の「グローバル未来共創」は、それぞれ週6時間分あり、1日をつかって地域に飛び出し、地域のリアルな現場で実践的・探究的に学ぶ時間をカリキュラムの中で設けます。

- ・ 現行の普通科1クラス、新たな普通科1クラス
- ・ 普通科と新たな普通科のくくり募集
- ・ 「島留学」の実施(全国募集)
- ・ 1年次は共通のカリキュラム
- ・ 2年次から普通科と新学科に
- ・ コーディネーターが4人、教員と一緒に授業づくり

隠岐島前高校ホームページ
<https://www.dozen.ed.jp/>

※1「令和の日本型学校教育」の構築を目標として(「新中」)には、高校生の学習意欲を喚起し、その能力を最大限に伸ばせるように、多様な学習コースに応じた学びを実現する高等学校の教育に転換する方向としてこの普通科改革が掲げられています。

学校案内パンフレットより(<https://www.dozen.ed.jp/wp/wp-content/uploads/2021/06/a8f93ca7f2e091bd4efec39cc65ce499.pdf>)

全国の「新たな普通科」 (令和4年度開設)

島根県立隠岐島前高校「地域共創科」

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
1年	現代の国語	国語	言語文化	公民	公共	数学I	数学A	物理基礎	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術	英語	外国語	家庭基礎	総合的な探究の時間	H	R															
2年	論理国語	古典探究	地理総合	歴史総合	数学II	地域未来共創	地域未来共創	体育	保健	英語	外国語	情報I	総合的な探究の時間	H	R																			
3年	論理国語	古典探究	選択C	選択D	選択E	選択F	選択G	選択H	選択I	選択J	選択K	選択L	選択M	選択N	選択O	選択P	選択Q	選択R	選択S	選択T	選択U	選択V	選択W	選択X	選択Y	選択Z	選択AA	選択AB	選択AC	選択AD	選択AE	総合的な探究の時間	H	R

□ 学問的・探究的な学習の時間 □ 実践的・探究的な学習の時間

学校案内パンフレットより(<https://www.dozen.ed.jp/wp/wp-content/uploads/2021/06/a8f93ca7f2e091bd4efec39cc65ce499.pdf>)

- ・ 「地域未来共創」を学校設定教科として開設
 - 2年次に学校設定科目「地域未来共創」6単位
 - 3年次に学校設定科目「グローバル未来共創」6単位
 - ➡週に1日はフィールドワークや探究的実践等、地域の中で学ぶ
- ・ 総合的な探究の時間 各学年1単位
 - 体験・実践を通して課題を発見、解決策を探る

全国の「新たな普通科」 (令和4年度開設)

長崎県立松浦高校「地域科学科」 “シン化した普通科”



- ・「地域科学科」2クラスと商業科1クラス
- ・令和2年度に地域課題解決型学習の「まつナビ・プロジェクト」が文部科学省の地域との協働による高等学校教育改革推進事業に選定
- ・松浦市、市民、長崎大学などが「まつナビ」の授業に協力

松浦高校ホームページ
<http://www2.news.ed.jp/section/matsuura-h/>

「地域科学科ビジュアル資料」より
<http://www2.news.ed.jp/shared/uploads/2021/11/1637822433.pdf>

全国の「新たな普通科」 (令和4年度開設)

長崎県立松浦高校「地域科学科」まつナビ・プロジェクト

3 “シン化”を続ける！
まつナビ・プロジェクト

まつナビ、プロジェクト(MNP)とは、平成28年度から本校と松浦市が協働で取り組んできた2年生での地域課題解決型学習「まつナビ」に、令和2年度から、1年生での「プレまつナビ」、3年生での「ポストまつナビ」を連携させて、課題発見力、論理的思考力、コミュニケーション力、そしてふるさとを大切にできる姿勢を高めることを目指した取り組みです。

令和2年度より文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」での活動を認め、松浦生が活発な活動を通して、「シン化」を続けています。

プレまつナビ(1年)

主に課題研究テーマを設定を行います。

まつナビ(2年)

主に課題研究を進め、発表や発表を行います。

フィールドワーク

「ゆめホール」での課題研究発表

主に1・2年の研究活動を基に、集めた発表活動を行います。

ポストまつナビ(3年)

各進小中学校の発展と共に学習

- <1年次 プレまつナビ> (1単位+総合的な探究1単位)
 - ・地元の基礎知識とフィールドワークなどの技能習得
 - ・次年度の研究テーマ設定
- <2年次 まつナビ> (1単位+総合的な探究1単位)
 - ・フィールドワークや地域との協働活動に基づく調査研究
 - ・松浦市議会での提言
 - ・テーマ例：空き家を利用して便利でにぎやかな街にしよう 農業っていいね！！ We love トラブグ
- <3年次 ポストまつナビ> (総合的な探究の時間2単位)
 - ・振り返りレポートの作成、小・中学生への発表

学校パンフレットより
<http://www2.news.ed.jp/bunrui/syoukai/pamphlet/70120annai/59140.html>

全国の「新たな普通科」（令和4年度開設）

隠岐島前高校、松浦高校の取組が

政府インターネットテレビに紹介されています。

「政府インターネットテレビ 普通科」で検索するか、

以下のアドレスからご覧いただけます。

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg23911.html>

15